

山江村議会だより

まるおか

No.50

章鹿倉保育園
夏祭り



山江保育園
お泊り保育での水遊び



万江保育園夏祭りのお神輿

目次

- 平成25年第3回山江村議会定例会報告
 - ・特別委員会報告
 - ・補正予算の内容
 - ・一般質問
- 道州制とは
- 編集後記「だんだんなあ」

平成25年7月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

平成25年第3回山江村議会定例会

道州制導入反対に関する意見書を決議

平成25年第3回6月定例会は、12日から14日までの3日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、報告4件、承認6件、条例制定3件、平成25年度山江村一般会計補正予算(第1号)、陳情1件で、最終日に議員発議2件を追加し審議しました。

12日に開会し、提案理由説明の後、議案審議。13日は一般質問で3名が登壇。最終日の14日に、提案された全議案について質疑・討論・表決を行ない、全議案原案通り可決決定しました。また議員発議として追加提案された「道州制導入反対に関する意見書」および、「山江村総合行政システムの更新に係る調査特別委員会設置に関する決議」についても全会一致で可決決定し閉会しました。

議会活動調査検討特別委員会報告 “議会の更なる改革を進めます”



平成23年6月議会において、新しい時代の理想的な議会のあり方を調査研究し、村民に開かれた議会とすることを目的に特別委員会を設置し、調査検討を重ねてまいりましたが、このほどその結果をまとめ以下のとおり報告いたしました。

議員定数および議員報酬＝当面現行通り

議員定数は、平成19年4月に14名から10名に減員、議員報酬は、平成15年4月に8%削減。平成23年4月、一律2,000円減額。

議会運営及び本会議に関する事項＝分かり易い議会に

本会議での質疑、質問については、住民の皆様に分かり易くするため、質問回数制限を緩和し一問一答方式を採用します。通年議会などは今後も研究します。

住民意見の反映＝地域や団体との意見交換会開催

住民の皆様のご意見を議会へ反映するため、団体や地域との意見交換会を開催いたしました。貴重なご意見を戴きましたので、今後も継続いたします。

開かれた議会の実現＝議会広報紙、ケーブルテレビ中継、インターネット等の充実

議会活動を住民の皆様への身近なものとするため、議会広報「まるおか」を年4回発行、ケーブルテレビによる生中継および録画放送については今後も継続。インターネットを活用した議会広報や議事録も閲覧出来るようになりました。

議員発議の実践＝積極的に行います

議員発議の実践として、地方自治法第96条第2項の規定により、議会の決議事項を追加しました。今後も議員発議を積極的に行い、議会の活性化に努めます。

各種委員会の委員および協議会委員への就任等＝慎重に行います

各種委員会の委員や協議会の委員、村民の皆様と直接利害関係が発生する審査会の委員や村から支援を受けている団体の役員への就任は慎重にします。

今後、村民の皆様のご意見を議会へ反映するため、村民の皆様との意見交換会を積極的に開催いたします。議会に対する疑問、質問など御座いましたらなんでもご相談ください。

山江村議会事務局 23-3401 直通

“役職員一丸となって再建を”

(株)やまえの経営支援に関する 調査検討特別委員会報告

平成24年9月議会において設置された特別委員会は、7回の委員会を開催し、経営に関する調査、ヒアリング、現地調査を実施し、6月議会において、以下のとおり報告しました。

■ 経営を圧迫している要因と問題点

- ・ 原油価格の高騰による燃料費の増加
- ・ 原料仕入経費の増加による製造原価の高騰
- ・ 主要商品や飲食物売り上げの減少、宿泊客の減少
- ・ 従業員の入れ替わりが激しく顧客離れが進んでいる
- ・ 危機感の欠如、営業努力の不足



(株)やまえ

■ 議会の提案

- ・ (株)やまえの役割を再考し原点に戻る⇒地域内経済の活性化
- ・ 経営分析を行い経営改善計画に沿った経営再建を
⇒しっかりした改善計画の樹立と実行
- ・ 役職員の意識改革を⇒危機感を持つ
- ・ 村民一丸となって再建
⇒村内利用者を掘り起こし、村の宝として再建する



平成25年度 一般会計補正予算 (第1号)



- ・民生費:保育士等処遇改善臨時特例事業他461万円(県補助金含む)
- ・農林水産業費:青年就農給付金他160万円(全額県補助)
農地・水保全管理支払事業支援交付金負担金249万円
アグリセンター維持管理費100万円
- ・商工費:温泉センター管理運営費、工事請負費100万円
- ・消防費:消防施設費、委託料及び工事請負費1,855万8千円
- ・教育費:事務局費65万4千円
- ・予備費:474万円の減額



歳 入

(単位：千円)

| 款 | 補正前額 | 補正額 | 合 計 | 説 明 |
|-----------|-----------|--------|-----------|--------------------------|
| 国 庫 支 出 金 | 226,738 | 8,504 | 235,242 | 消防防災施設整備 コミュニティスクール推進 |
| 県 支 出 金 | 188,453 | 6,309 | 194,762 | 保育士処遇改善・農地・水保全 青年就農給付 |
| 諸 収 入 | 11,383 | 500 | 11,838 | (財)熊本県市町村振興協会補助金 |
| 村 債 | 172,300 | 10,700 | 183,000 | 消防施設整備事業 |
| 歳 入 合 計 | 2,700,000 | 26,013 | 2,726,013 | |

歳 出

(単位：千円)

| 款 | 補正前額 | 補正額 | 合 計 | 本年度予算額の財源内訳 | | | |
|-------------|-----------|--------|-----------|-------------|--------|-----|--------|
| | | | | 特定財源 | | | 一般財源 |
| | | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 総 務 費 | 458,070 | 591 | 458,661 | 0 | 0 | 0 | 591 |
| 民 生 費 | 630,656 | 4,610 | 635,266 | 3,463 | 0 | 0 | 1,147 |
| 農 林 水 産 業 費 | 324,588 | 5,340 | 329,928 | 2,846 | 0 | 0 | 2,494 |
| 商 工 費 | 26,405 | 1,000 | 27,405 | 0 | 0 | 500 | 500 |
| 消 防 費 | 109,589 | 18,558 | 128,147 | 7,854 | 10,700 | 0 | 4 |
| 教 育 費 | 169,510 | 654 | 170,164 | 650 | 0 | 0 | 4 |
| 予 備 費 | 11,522 | △4,740 | 6,782 | 0 | 0 | 0 | △4,740 |
| 歳 出 合 計 | 2,700,000 | 26,013 | 2,726,013 | 14,813 | 10,700 | 500 | 0 |



中竹 耕一郎 議員

・第5次山江村総合振興計画に対する村長の認識は

質問 第5次総合振興計画（後期基本計画）を策定しなければならぬが、村長の基本的な認識は？

答弁 将来像、方向性を策定することから総合計画が村づくりの基本であると認識している。

質問 農産物のブランド化が叫ばれる中、ホタル米の年間取り扱量、栗の年間生産量は？

答弁 物産館で販売している。約13トンである。栗は140トン前後である。

質問 フードバレー構想に基づく農産物の6次産業化、今後の展開は？

答弁 設立される協議会を機軸に目的に沿って取り組む。全国、東南アジア

にむけた連携、付加価値の高い農産物の地域こだわり感をもって取り組む。フードバレー構想の波に乗り遅れないよう受け皿の構築に全力を注ぐ。

質問 農産物の契約栽培への取り組みは如何？

答弁 ミシマサイコ、そば、人参、黄金千貫などがある。有能な企業であれば推薦し農家に勧めていく。

質問 生産意欲をそがれている有害鳥獣被害対策に関し効果的な施策は？

答弁 電気柵、防護ネットなどの支援をしている。現段階では効果的な対策がない。近隣町村とも協議、模索中である。

質問 後継者対策、状況の把握はされているのか？事業の実績、見通しは？

答弁 70名〜80名程度が対象者である。9町村で結婚支援協定が締結された。球磨郡でも計画されている。周知したい。今後は、福祉サイドで取り組む。社会福祉協議会に検討するよう指

示している。

質問 後期計画の策定を、どんな組織で進めるのか、またそのスケジュールは？

答弁 アンケート調査、地域懇談会を実施する。総合計画審議会委員を委嘱し審議する。

質問 課題となっている子供貧困について、実態と対策について尋ねる。

答弁 支援対象者の早期発見が重要である。福祉関係者との連携が必要。コミュニティスクール実施に連動して取り組む。

要望 農林業、教育など課題は多い。その解決に向け、しっかりした後期計画を策定され着実に推進されたい。





岩山 正義 議員

- ・ジェネリック医薬品への取組と普及状況は
- ・個人住宅リフォーム補助金の考えはないか

質問 ジェネリック医薬品への取組と普及状況は？

答弁 医療費負担の軽減や国保財政改善の観点から積極的に普及推進を図るべき、平成22年度7月から医療費通知と併せ利用促進のパンフレット同封、また広報やまえ等冊子による周知、ジェネリック医薬品希望カードを配布するなど普及を進めている、平成25年3月の利用状況は金額で13.8%で、今後も継続的に啓発を進めジェネリック医薬品に関する知識の浸透を図る。

質問 ジェネリック医薬品と、新薬医薬品とのちがいは？

答弁 ジェネリック医薬品は新薬医薬品と同じ有効成分で、効能・効果が等

しい医薬品である、先発医薬品の特許が切れたあとに、厚生大臣の承認のもとに新たに他社から製造販売される医薬品で、価格はおおむね7割以下、中には5割以下の薬もある。新薬の開発には9年から17年ほどの期間と数百億円も投資が必要で開発に係るコストが新薬の価格に反映されている。



ジェネリックは先発医薬品と同等の薬を使いながら自己負担額を減らすメリットがある。

質問 病気の多くが生活習慣病と言われ医療費に占める割合も大きいがどのような健康づくりを考えているのか。

答弁 高齢期に向けて外来受療率が徐々に増加し入院受療率が上昇している。食生活や運動不足等の生活習慣の改善がないまま重症化し虚血性心疾患

や脳卒中等の発症に至る傾向にある。生活習慣病の予防は定期的な検診の受診により自身の健康状態を知ることが大切で、バランスの取れた食事とウォーキング等適度な運動が重要である。また各種健康づくり教室等を開催しているので多くの参加を期待している。

質問 居住環境の向上と地域の活性化を図るため、個人住宅のリフォーム経費の一部を補助する考えはないか。

答弁 住宅改修の時期を迎えた建物や、生活様式の多様化も重なり修繕補修が必要な住宅、また高齢化が進むなか、玄関の段差や風呂場、トイレ、障子やふすま等の敷居段差改修等したくても資金面で二の足を踏む方も多いため考える。リフォームを村内の業者が施行することにすれば居住環境の向上と併せ地場産業の活性化も図れる、村民のニーズと実態の把握に努めて制度化について検討してみる。

一般質問



西 孝恒 議員

- ・災害に備えた対策は
- ・大災害時の情報伝達の確保は

質問

昨年の大雨災害の復旧状況は？

答弁

本村では、県道、村道、林道の崩壊、さらに万江川流域の護岸決壊など多くの災害が発生した。県が行う災害復旧は村内12箇所ある中で未施工箇所は道路2箇所、河川2箇所となっている。尚、山江村が行った公共土木災害復旧事業4箇所は完了している。また、村単独で行った復旧工事も全て完了している。林道坂本山江線は、来週竣工検査の予定である。

質問

昨年の状況から今後の対策予定箇所は？

答弁

河川掘削の土砂堆積の除去や護岸の改修整備を県へ要望している。本村においては、合戦の峰橋梁整備、柚

木川内橋梁代替路線など調査検討している。

質問

下の段橋付近の護岸改修はないか？

答弁

現地の状況を写真等で県の方へつなぎ危険箇所として要望していきたい。

質問

山江村防災行政無線の個別受信機の稼働状況は？

答弁

本村の防災行政無線は、25年ほど経過している。個別受信機の老朽化による不良品は修理や交換を行う。村民からの問合せもあるので調査したい。

質問

Jアラートの稼働状況は？

答弁

昨年の全国一斉訓練時の不調は、音声端末機の接続不良が原因だったので、即日改善し現在は良好である。

質問

移動無線系の設備をした車両や携帯型無線機の台数及びその点検や訓練結果は？

答弁

無線機搭載車両は各課合わせて計10台、携帯型無線機は計7台設置している。また、定期点検を年1回、同時に通信試験を実施している。防災体制の強化に努めたい。

質問

アナログ無線のデジタル化計画は？

答弁

デジタル化が進んでいるが財政的負担が大きい。しかし、完全移行した場合を考え準備する必要もある。

質問

アマチュア無線を活用した非常通信についての方針は？

答弁

各地の大災害においてアマチュア無線は大いに活躍しているようである。それを活用するには課題があるが、有効な情報収集伝達手段と考える。今後検討してみたい。



山江村防災行政無線

道州制導入に反対する意見書を決議

……道州制導入の問題点……

- ①道州制導入の議論は、政府・与党や財界主導、大都市中心に進められてきたものであり、住民に一番身近な当事者である町村と真摯な議論も丁寧な説明もないまま一方的に押し付けようとしている。
- ②基礎自治体と道州制の二層制は、小規模町村の存在を否定し、国策として推進されてきた平成の大合併に続き、事務権限の受け皿という名目のもと、事実上の強制合併を余儀なくされるものであり、住民と行政の距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまうことが明白である。

……道州制とは……

- ・ 都道府県を廃止し全国に10程度の道州を設置する
- ・ 市町村の区域を基礎として20万人程度の基礎自治体を設置
- ・ 国は、外交や防衛、司法に関することを担う。
- ・ 道州は、それ以外の国の事務と都道府県から継承する事務を行う。
- ・ 基礎自治体は、都道府県事務のうち住民に身近なものと、市町村から継承する事務を行う。
- ・ 道州と基礎自治体には独立した税源を与え、財政調整制度を創設する。



だんだんなあ



暑中お見舞い申し上げます。
近年の異常気象から今年の梅雨も大雨災害が懸念されましたが、予報に反して少雨で早い梅雨明けとなり、途端に猛暑日到来で熱中症が心配な状況が続いています。
皆様には、酷暑のなか水田の管理等、毎日のお仕事本当にお疲れさまです。
今年は、第23回参院選通常選挙が行われ自民党の圧勝となりました。現政権のねじれ解消安定政治へ向けた基盤が築かれ、愈々直面する経済や財政・TPP・復興・外交・社会保障・憲法問題等山積する荒海の中を進む自民党政権の正念場でもあります。特にTPP参加交渉、消費税増税は注目しつつ、私たちの地方に於いてもアベノミクスの実感が届いてほしいものです。
真夏日が続く正に夏休みらしい時候です。本村の各保育園でも夏祭りが催され地域の方も納涼のひとつきを過ごされ、そして以前より多い子どもさんの歓声は、地域に明るい活力をもらいます。皆様には本村へのお力添えに感謝いたしますとともに、盛夏の季節をご健勝にてお過ごし下さいますようご祈念申し上げ「だんだんなあ」と致します。

文責 西 孝恒

議会広報委員

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 中竹 耕一郎 |
| 副委員長 | 西 孝恒 |
| 委員 | 秋丸 安弘 |
| 委員 | 谷口 予志之 |